

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	環境施設課担当課長 谷川 克也	
環境-09 環境運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	環境施設課
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。
効果	安定的な一般廃棄物の処理と、3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<p>・一般廃棄物処理施設等に関する諮問機関である生活環境整備審議会において、効率的、効果的で環境への不可の少ない安全な施設整備に向けた調査、審議を行った。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	849	42		当初予算(千円)	188		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	849	42	188	一般財源	188		
事業運営	人員配置数	0.3	0.3		人員配置数	0.3		
	人件費(千円)	2,367	2,283		人件費(千円)	2,311		
	総事業費(千円)	3,216	2,325		総事業費(千円)	2,499		
	市民1人当りの経費(円)	18	13		市民1人当りの経費(円)	14		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	廃棄物処理施設のマネジメント	事業へ統合
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小			
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他			
	<input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒					
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由				
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする					
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する					

総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成26年度は「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画(案)」を作成するために、審議会の開催日数が大幅に増加したが、平成27年度以降は、通常の年3回程度の開催日数を想定しているため、予算規模などは現状維持とした。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	生活環境整備審議会から答申のあった「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画(案)」を、市の行政計画として位置付ける。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	鎌倉市生活環境整備審議会から答申された「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画(案)」を基に、新ごみ焼却施設の建設候補地を決定したうえで、その内容を反映させた「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画」を策定するために、ごみ処理施策推進本部会を開催するとともに、パブリックコメントを実施し、平成27年度内に本計画を策定した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	今後も、新ごみ焼却施設の建設を前提に、その他の一般廃棄物処理施設のあり方についての検討を進めていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	一般廃棄物処理に関わる施設のあり方などについて調査・研究を行なう。						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
鎌倉市の一般廃棄物処理施設のあり方について、学識経験者の見地から検討する必要があるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	100.0	100.0								
	達成率	100.0%	100.0%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---